

使徒信条

わたしは、天地の造り主、全能の父なる神を信じます。

わたしは、そのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、処女マリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、陰府にくだり、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父なる神の右に座しておられます。そこから来て、生きている者と死んでいる者とを審かれます。

わたしは、聖霊を信じます。聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン

主の祈り

天にまします我らの父よ、

願わくは御名をあがめさせたまえ。

御国をきたらせたまえ。

御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧をきょうも与えたまえ。

我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、

我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国とちからと栄とは、

限りなく汝のものなればなり。アーメン

初めて礼拝に参加なさる方への御案内

- ・教会の礼拝は、信者だけのものではありません。どなたでも、いつでも参加できます。
- ・礼拝は、「見えない神と対面するとき」です。砕かれた自分を携えて礼拝に臨みましょう。
- ・礼拝では、イエス・キリストを証言する聖書を読み、その聖書を説き明かす説教が行なわれます。イエス・キリストの御言葉と生きる姿を通して、私たち自身の生きる道を尋ねましょう。
- ・礼拝では、讃美歌を歌い、祈ります。これらは神への信頼を表し、また神の恵みに応えて感謝を捧げるものです。
- ・礼拝では、自分自身をささげて神に従う献身のしるしとして、献金を捧げます。今は、献身のしるしとして捧げる事は難しいと感じる方が、神への感謝のしるしとして捧げることもまた礼拝に相応しいことです。人の目や金額の大小を思わず、心のままにお捧げ下さることは、神と人へと仕えて生きる新しい歩みの第一歩となるはずです。



←礼拝ライブはフェイスブックから
週報はホームページにも掲載→



礼拝 毎日曜午前10:10より
日曜学校 毎日曜午前9:30より
祈り会 毎水曜午前10:30より
午後6:30より

*牧師との面談を希望される方はご連絡下さい。



週報

2021. 8. 29

イエスは再び言われた。「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ」

(ヨハネ8:12)

イエスは言われた。「光は、いましばらく、あなたがたの間にある。暗闇に追いつかれないように、光のあるうちに歩きなさい。暗闇の中を歩く者は、自分がどこに行くのか分からない。光の子となるために、光のあるうちに、光を信じなさい。」

(ヨハネ12:35~36)

日本キリスト教会

札幌豊平教会

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条3丁目5-15

電話 (011) 811-6838

送金には、郵便局から振替口座をご利用ください。振替: 02790-7-9082

口座名義: 日本キリスト教会札幌豊平教会

メール toyohirachurch@jcom.home.ne.jp

HP <https://www.ccjtoyohira.com/>

北海道中会ホームページ <http://nikki-hokkaido.net/>

招きの言葉：ヨハネ13：34～35

あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。

讚美歌 I-545

聖書 使徒言行録11：19～26 (新p235)

祈り

説教 「人は“キリスト者”と呼ぶ」

讚美歌 I-502

献金

主の祈り

頌栄 I-543

祝祷

アーメン三唱

後奏 (聴いた御言葉と派遣されて行く者としての理想を覚えて、各自黙禱を)

きょうの聖書

19 ステファノの事件をきっかけにして起こった迫害のために散らされた人々は、フェニキア、キプロス、アンティオキアまで行ったが、ユダヤ人以外のだれにも御言葉を語らなかった。

20 しかし、彼らの中にキプロス島やキレネからきた者がいて、アンティオキアへ行き、ギリシア語を話す人々にも語りかけ、主イエスについて福音を告げ知らせた。

21 主がこの人々を助けられたので、信じて主に立ち

帰った者の数は多かった。

22 このうわさがエルサレムに教会にも聞こえてきたので、教会はバルナバをアンティオキアへ行くように派遣した。

23 バルナバはそこに到着すると、神の恵みが与えられた有様を見て喜び、そして、固い決意をもって主から離れることのないようにと、皆に勧めた。

24 バルナバは立派な人物で、聖霊と信仰とに満ちていたからである。こうして、多くの人が主へと導かれた。

25 それから、バルナバはサウロを探しにタルソスへ行き、

26 見つけ出してアンティオキアに連れ帰った。二人は、丸一年の間その教会と一緒にいて、多くの人を教えた。このアンティオキアで、弟子たちが初めてキリスト者と呼ばれるようになったのである。

今週の集会

- ・30日(月)7:30 朝ごはん
10:00-12:00 リコーダー演奏家の練習
- ・31日(火)9:00 出発・11:00 夕張フィールドワーク
- ・1日(水) 10:30 祈り会(オンライン併用) /18:30 祈り会
- ・2日(木) 10:00～弁当調理
- ・3日(金) 9:00 弁当作り(教会前では12:30 手渡し)
- ・4日(土) 10:30 キリスト教会の歴史(オンライン併用)

今週の牧師の予定(省略)

次主日の予告(2021年9月5日) 聖餐執行

礼拝 聖霊降臨日第16主日 (ライブ配信)

聖書 IIコリント3：1-6 (新p327)

説教 「キリストの手紙—いのちのバトン—」

神学生関口直文

讚美歌 讚美歌21-28, 457, 78, 27

報告

- ・22日(日)の礼拝出席29, 子ども0, 幼児1
献金17,826円、高校生以上の集い：休会
・平和集会：会場21名、zoom：8名+講師=30名
- ・24日(火)20:00～21:30 カルヴァン・改革派神学
研究所ZOOM公開講座：1名
- ・25日(水)祈り会I：10(対面・リモート併用)II：2名
- ・27日(金)とよひら食堂：190食(教会前58、札バブ45、留学生会館0、聖公会60)大通20, ボラ8名(7食)、
- ・28日(土)判子教会の歴史：休会(対面・リモート併用)

お知らせ

*先の主日には、平和主日の礼拝をささげ、11:45からは、2021 平和集会を持った。タイトルは「歴史を生き、歴史をつくる教会となるために」—札幌豊平教会の戦争責任告白から25年—。

講師の渡辺輝夫夕張伝道所牧師は、豊平教会が『戦後50年を迎えての日本キリスト教会札幌豊平教会の罪の告白と新たな宣教への決意』を生み出した1996年当時の当教会牧師であった。同牧師は『罪の告白と決意』が生まれた経緯を振り返り、豊平教会に起こされた躍動を想い深く語って下さった。当時既に養われていた、社会の打ち捨てられた者に位置に身を置こうとする「低点志向」があったこと、旺盛な学習活動と個々の戦争体験の共有があったこと、一信徒の提案を委員会が取り上げ、次に小会(長老)と全体協議会(信徒全員)とを往復する討議が重ねられ、最終的に総会決議として『罪の告白と決意』が採択されたプロセスにも「個から全体へ」「下から上へ」という望ましい姿があったことが語られた。

また、同牧師が豊平教会を辞して季節労働者への転身を図って歩んだ25年間を、聖書を語る者(説教者)としての在り方を問い続ける歩みとして語って下さった。 《次回に続く》